

豊橋市 市民意識調査

1. 調査の目的

この調査は、市民と行政が一体となったまちづくりを推進するにあたり、市民の皆様の貴重なご意見やご要望をお聞きし、明日の豊橋市のまちづくりに反映させることを目的として実施しております。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域：豊橋市全域
- (2) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女
- (3) 標 本 数：5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法：設問紙にもとづく郵送法
- (6) 調査期間：平成24年6月8日(月)～6月22日(月)

3. 調査項目

- (1) 豊橋市に対する愛着度と自慢度について
- (2) 東三河の広域連携について
- (3) 「市議会の広報」について
- (4) 多文化共生について
- (5) 各家庭の大地震への備えについて
- (6) お住まいの地震対策について
- (7) 防災対策について

- (8) 住宅用火災警報器の設置について
- (9) 消防団活動について
- (10) 「豊橋市の子育て支援」について
- (11) 「児童虐待」について
- (12) 犯罪の被害者に関する意識について
- (13) 「おくすり手帳」について
- (14) 「外食栄養成分表示」について
- (15) 「自然史博物館の大型映像及び特別企画展の観覧料」について
- (16) 「視聴覚教育センター・地下資源館」について
- (17) 地域の生活環境について
- (18) あなたご自身について

4. 調査機関

社団法人 東三河地域研究センター

5. 回収結果

- (1) 回 収 数：2,364人
- (2) 有効標本回収数：2,357人(全問無回答及び属性のみ回答の標本は無効とする)
- (3) 有効標本回収率：47.1%

豊橋市 市民意識調査

I. 豊橋市に対する愛着度と自慢度について

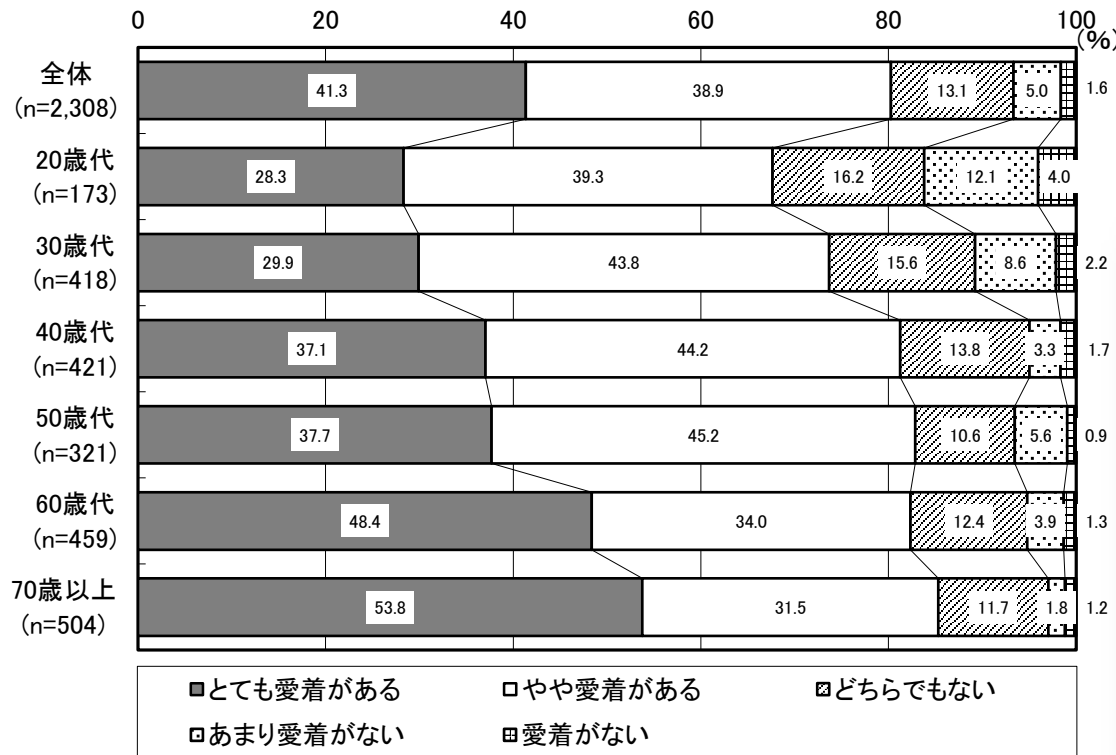
【問1】あなたは豊橋市に対して愛着がありますか。(n=2,308)

(1) 全体的傾向

「豊橋市への愛着」について、「とても愛着がある」と回答した人は約41%を占め、次いで「やや愛着がある」と回答した人は約39%となっている。

(2) 年代別にみた特性

70歳以上では、「とても愛着がある」と回答した人が約54%を占めており、他の年代と比べ高くなっている。一方、20歳代では、「あまり愛着がない」が約12%となっている。



出典：豊橋市役所企画部広報広聴課発行
市民意識調査報告書

市民意識調査報告書

(第43回・平成24年度)

市民意識調査

～あすのまちづくりにあなたの声を～

皆様からさまざまな声をいただくために、取り組んでいます。

この市民意識調査は、市民の生活の現状や豊橋市のまちづくりの現状を把握し、市民の意見や要望を参考に、今後の豊橋市のまちづくりの方向性を決定することを目指し、実施しています。

この調査の結果は、市民生活の向上に資するため、関係機関等に提供させていただきます。また、市民生活の向上に資するため、関係機関等に提供させていただきます。

平成24年6月

豊橋市長 佐藤 光一

豊橋市

回答についてお願い

- 個人の意見は公表しませんので、あなたの意見を安心してご記入ください。
- ご記入による記入の間違い等は、ご記入の方向が正しくても構いません。
- 回答は特に指定のない限り、後述する番号を記入してください。
- このアンケートは、匿名で実施しますのでご記入のうえ同封の返信用封筒で返送ください。

お問い合わせ先：豊橋市役所 広報広聴課 (電話 51-2166)

